

大雨・台風の準備はできてますか？「備える。かわさき（マガジン）」第 4 号を発行します

いつ起こるか分からない大地震や風水害などの自然災害に対し「無理なく・無駄なく備える」ためのヒントを発信する WEB 版の防災マガジンとして、「備える。かわさき（マガジン）」を令和 5 年 9 月に創刊し、この度第 4 号を発行します。

平時と有事を分けずに備える「フェーズフリー」などの、他の媒体ではあまり触れないような情報がたくさんありますので、ぜひ一読ください。

1 概要

テーマ：「マイタイムライン」

台風や大雨などの風水害は、地震災害と違い、災害発生の数日前から報道等である程度の予測が可能です。「いつ」「誰が」「何をやるのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに適切な避難行動をとる助けとなる「マイタイムライン」について紹介しています。

2 発行日

令和 6 年 6 月 3 日（月）

3 市ホームページ掲載場所

ホームページからご覧いただけます。

<https://www.city.kawasaki.jp/601/page/0000153442.html>



4 今後の発行予定

次号（第 5 号）は令和 6 年 9 月に発行予定



←【1 面】

- ・マイタイムラインの必要性について解説
- ・フェーズフリーについての投稿コーナー

【2 面】→

- ・マイタイムラインの作成例
- ・フェーズフリーのすすめ



問合せ先

川崎市危機管理本部危機管理部 郷野

電話 044-200-2478



風水害編

風水害から命を守るために



**本当に
避難所に行く必要が
ありますか？**



©似顔絵倶楽部

台風などの風水害が発生したときに、各種警報の他に「避難指示」などが発令されるのを体験した方も多いのではないのでしょうか。このような指示を聞くと、「避難所へ行かないと」と考える方が多いかと思いますが、慌てて行動してはいけません。

- 避難所へ行くまでの道は安全ですか？
- 避難所へ何も持っていなくて平気ですか？
- ペットはどのように避難させますか？
- 本当に避難する必要があるですか？

避難とは「難」を「避」けること。避難所へ行くだけが避難ではありません。

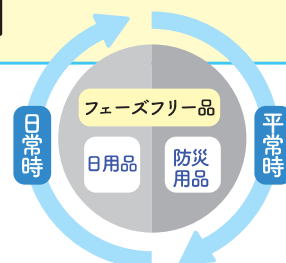
風水害は地震災害と違い、発生の数日前から報道などによってある程度の予測ができますので、避難のための「**ご自身の避難行動計画(マイタイムライン)**」を日頃から作っておきましょう。



『これからの\\防災\\を考える』



「無理なく・無駄なく備える」ことで防災も持続可能な取組となります。また、平時と有事を分けず(フェーズフリー)普段使うもの、消費するものを見直すことにより、平時にも役立ち有事にも備える事ができ、生活の質も向上するのではないのでしょうか。



投稿コーナー

教えて！



あなたの
フェーズフリー

危機管理本部では、「フェーズフリー」な取組のアイデアを募集しています！
ご自宅で実践している「フェーズフリー」をぜひ教えてください。



<https://logoform.jp/f/rBRIU>

考えておこう! 災害時の逃げ方

《マイタイムラインを作成しましょう》

マイタイムラインとは、風水害に備えて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動つまり「**自分の逃げ方**」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめて家庭内で共有しておきましょう。



マイタイムライン作成例

STEP.0 (日頃から)	自宅周辺のリスクをハザードマップで確認しておく。
STEP.1 (3 日前)	台風の接近情報を確認。足りないものを買い足す。 避難先は台風進路外にある親戚の家に決定。
STEP.2 (1 日前)	車を高台に移す。 ペットをペットホテルに預ける。
STEP.3 (半日前)	雨風が強くなる前に避難を開始する。



【豆知識】風水害の避難所って どんなところ？

- ❑ 地震が起きた時の避難所は被災者が「一定期間」生活するための場になりますが、風水害の時の避難所は、命を守るためにあくまで「緊急的」に避難するための場になります。
- ❑ そのため、風水害の際は避難所で備蓄物資は原則配られません。また、地震と風水害どちらにも言えますが避難所はホテルではありません。避難をする際には必要なものは自分で持ち込めるように準備しておきましょう。

避難に備えた行動を事前に決めておきましょう。

詳しくはこちら▶



● 備えない防災

《フェーズフリーのすすめ》

ラジオを日常生活に取り入れよう



災害時の情報入手手段はいくつ持っていますか？災害が起こるといつも使っているものが使えなくなる 可能性があるので、ツールを複数持っておくことは非常に大切です。なかでもオススメはラジオです。川崎市では緊急時に「かわさきFM(79.1MHz)」による割込放送で災害情報を入手できます。また、かわさき FM と共同で毎週月曜日 8:30 に「わが家の危機管理」という定例番組を制作し、ラジオ放送を行っています。同日 21:50 から再放送もしていますのでぜひ聞いてみてください。

今ではスマホでラジオを聞くことができるアプリもあるので、この機会に日常生活へラジオ視聴の習慣を取り入れてみてはいかがでしょうか。

かわさきFM
79.1MHz



わが家の危機管理

毎週月曜日 8:30

同日 21:50 から再放送

【わが家の危機管理】
詳細はこちらから▶



防災啓発動画を作成しました！

「川崎市ぼうさいチャンネル」にて、新たに防災啓発動画を作成しました！第1弾は「情報を入手するには」。

今後も「マイタイムライン」や「災害イマジネーション」などの色んなテーマを紹介していきますのでチャンネル登録をぜひお願いします。



詳しくはこちら

● 夏休み企画

こども防災塾を開催！



市制100周年を迎えるこの夏、次の100年を担うこどもに向けて講座やワークショップを通して防災を学ぶ「こども防災塾」を川崎市の南部・中部・北部の3会場で開催します！夏休みの一日、親子で防災について学んでみませんか。



詳しくはこちら

防災ポータルサイト



備える。かわさきマガジン

発行：川崎市危機管理本部危機管理部

☎ 044-200-2894

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

編集：株式会社産通

本マガジンHPはこちらから



公式SNS
フォローしてね！

X(旧Twitter)▶

@Kawasaki_bousai

